



富秋中学校区等まちづくり検討会議 第5回 子育て・教育部会



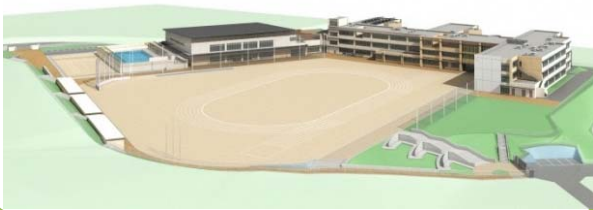
2018.9.18



施設一体型小中一貫校とは・・・

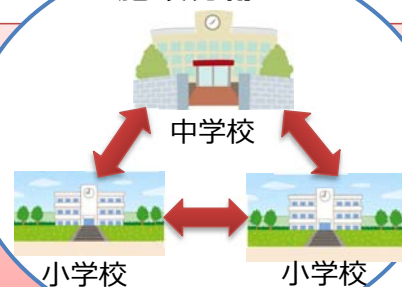
小学校と中学校を、
同敷地内の1つの施設内に設置

施設一体型



小中一貫教育

施設分離型

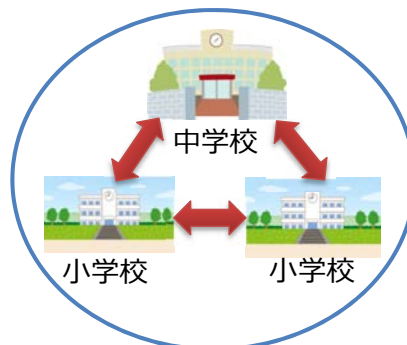


施設一体型とすることで、より一貫教育の効果が期待される。

施設一体型小中一貫校とは・・・

和泉市では、
市内全ての学校において、
「小中一貫教育」を実施

施設分離型



南松尾はつが野学園は「施設一体型」



2

他市事例

大阪府内における施設一体型小・中学校（園）の状況

大阪府内の状況（平成30年5月1日現在）では、

1 1校の施設一体型小中一貫校、

4校の義務教育学校が設置されています。



- 多くの市町村が南松尾はつが野学園へ視察に訪れており、設置の検討が進められている。
- 設置数も増える予定

3

他市事例

義務教育学校

守口市 さつき学園 H28年開校



和泉市 南松尾はつが野学園 H29年開校



池田市 ほそごう学園 H27年開校
H30年から 義務教育学校へ



羽曳野市 はびきの学園 H26年開校
H30年から 義務教育学校へ



4

他市事例

施設一体型小・中学校(園)

箕面市 とどろみの森学園(止々呂美小、止々呂美中) H20年

箕面市 彩都の丘学園(彩都の丘小、彩都の丘中) H23年

能勢町 能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28年

八尾市 高安小学校、高安中学校 H28年

大阪市 やたなか小中一貫校(矢田南中、矢田小) H24年

大阪市 いまみや小中一貫校(今宮中、新今宮小) H27年

大阪市 むくのき学園(中島中、啓発小) H26年

大阪市 日本橋小中一貫校(日本橋中、浪速小) H29年

大阪市 咲洲みなみ小中一貫校(南港南中、南港みなみ小) H30年

堺市 さつき野学園(さつき野中・さつき野小) H24年

堺市 大泉学園(大泉小・大泉中) H25年

今後多くの建設が予定されています。 5

能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

○ 統合の経緯

平成21年「能勢町学校再編整備に関する基本方針」策定

- ・町内の少子化対策
- ・町の魅力づくり
- ・クラス替えができる規模にするため
- ・学校施設の耐震対策やユニバーサルデザインを取り入れた望ましい教育環境



→ 方針: 学校規模を学級替えができる規模 「小学校1校」「中学校1校」へ



平成27年度 2小学校を統合

平成28年度 全ての小中学校(小5校、中2校)をひとつに統合

能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

○ 児童生徒数^(H29)

小学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	H28
児童数	51	48	58	53	72	55	337	344
学級数	2	2	2	2	2	2	12	12

中学校	1年	2年	3年	計	H28
生徒数	63	68	69	200	237
学級数	2	2	2	6	6

能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

〇めざす方向性

小中9年間ですべての子どもたちに、自立して社会で生き抜く力を育む

地域と共に歩む学校

人権が尊重される学校



能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

〇地域と共に歩む学校

〈体力づくり〉

- ・遊びの充実
- ・部活動の活性化

〈食育〉

- ・縦割りコラボ給食
- ・郷土料理の調理実習

〈自主・自立学習〉

- ・漢字検定(小学生無償)
- ・英語検定(中学生無償)
- ・家庭学習の手引き

〈グローバル能勢〉

- ・ふるさと再発見
- ・地域学習

能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

○人権が尊重される学校

〈インクルーシブ教育〉

- ・専門家の巡回相談
- ・自立支援教室

〈ささゆりタイム〉

- ・小1から中3までの縦割り 集団での「徒歩遠足」、「交流給食」、「縦割清掃」など

〈グローバル英語〉

- ・留学大学生とのコラボ
- ・英語DAY CAMP



〈情報教育〉

- ・情報ネットワーク、大型TV、デジタル教科書等を活用
- ・映像授業の活用

能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

○施設等

〈情報学習センター〉

- ・図書室と自立学習室を一体化
- ・自立学習室
 - ガラスパーテーションで図書室と区切られたエリア
 - 自立学習塾を開催 放課後週2回 中学生を対象
- ・調べ学習エリア
 - 休憩時間や放課後に本を読んだり、宿題を教え合う子どもの姿



能勢ささゆり学園(能勢小、能勢中) H28 能勢町

○アフタースクール I

- ・学校支援ボランティアが毎月の活動内容を企画
- ・無料
※ものづくりや料理教室など一部有料あり
- ・漢字検定や算数検定の練習
※本検定を学校で実施
- ・地元ボランティアや教育委員会、各団体・協会が活動支援

10月 アフタースクール予定表

*自分が参加するプログラムに○印をし、わかる所にはいましょう
*登校する時にお家の人と確認しましょう

	月	火	水	木	金
日	1	2	3	4	5
Menu プログラム	(1) (3)			(3)	(3) (1) (3)
日	8	9	10	11	12
Menu プログラム			(4)	(3)	(1) (3)
日	15	16	17	18	19
Menu プログラム					(3)
日	22	23	24	25	26
Menu プログラム	(3)			(3)	(1) (3)
日	29	30	31		
Menu プログラム	(1) (3)				

Menu	かつどうじかん 活動時間	げこうじかん 下校時間	げこうほうほう 下校方法
①	3時50分～4時20分	4時30分	徒歩・バス
③	3時50分～5時20分	5時30分	おむかえ・バス
④	2時30分～4時20分	4時30分	徒歩・バス





ほそごう学園 H27 池田市

○統合の経緯

- ・細河小学校、伏尾台小学校の小規模化により各校とも各学年が単学級の状況となる。
- ・平成23年から池田市全体で小中一貫教育がスタート
→小中一貫教育のリーディング校として。

・平成30年度から義務教育学校へ



ほそごう学園 H27 池田市

○特認校制度

「平成27年4月に施設一体型小中一貫校として開校し、9年間を見据えた特色ある教育活動を実施しています。

平成29年度より、そのような教育環境の中で、子どもを学ばせたい、学びたいという場合に、一定の条件のもとで市内の他の校区から就学できる…」

- ・平成29年度より導入
- ・小学1年生から中学3年生 各学年若干名募集
- ・児童生徒が原則として公共交通機関を利用し、通学
- ・原則として中学校卒業までの間、通学

ほそごう学園 H27 池田市

○児童生徒数

	H27	H28	H29	H30
児童	376	357	306	325
生徒数	208	194	177	172
計	584	551	483	497

特認児童生徒数(H29年度 5名、H30年度16名)

※H30は年度当初17名 後、1名が校区内へ転居



他市事例

ほそごう学園 H27 池田市

○人権・キャリア教育

- ・里山学習や、地域の施設とそこで働く人や様々な立場の人との出会いなど、ほそごう地域ならではの9年間の系統的な人権・キャリア教育を展開

○学力向上の取組み

- ・放課後英語教室「ほそごうAS(アフタースクール)イングリッシュ」
→ 希望する2～6年生を対象に実施
- ・中学校への指導者派遣事業により英語講師が配置
→ 5年生以上の英語の授業に力
- ・小学校高学年での一部教科担任制
- ・7年生の授業への小学校教員の入り込み



16

他市事例

ほそごう学園 H27 池田市

○学校行事

- ・体育大会は9学年合同で実施
- ・文化発表会も中・後期は互いの演技を鑑賞できるプログラムにするなど
異学年交流を図っている



○学校施設

- ・異学年間で給食交流ができるランチルーム
- ・図書館にパソコン教室を併設したメディアセンター
- ・小さなイベントのできる交流ホールも子どもたちに人気



他市事例

大泉学園 H25 堺市

○ 統合の経緯

- ・小学校は昭和43年に開校。中学校は金岡北中学校の学校規模が過大になったため、昭和56年に同校から分離開校。
- ・校区は1小1中で隣接していたことから、小中連携は進められていた。
- ・小規模校化、生徒指導などの課題解決に向け、地域が先導し、市長部局、教育委員会へはたらきかけていたこともあり、移行は速かった。

昭和43年 4月 堺市立大泉小学校開校

昭和56年 4月 堺市立大泉中学校開校

平成25年 4月 小中一貫校に改編



18

他市事例

大泉学園 H25 堺市

○ 児童生徒数

	H28	H29	H30
児童	181	166	173
生徒数	85	90	68
計	266	256	241

屋上プール



○ 学校施設



- ・中学校の敷地、既存の校舎を活用、増築
- ・屋上プール設置
- ・防災拠点として、体育館には更衣室も完備
- ・運動場 直線100m 200mトラック

19

大泉学園 H25 堺市

○特色ある取組み・教育

「学力向上」

- ・英語教育 → 1年生から英語授業を実施
コミュニケーション力の向上
- ・検定チャレンジ → 漢字や計算などの校内検定
から資格検定へ

「キャリア教育」

- ・9年間を見通したカリキュラムでキャリア教育を実施

「心育て」

- ・「大泉教育コミュニティ」として、地域の方々との
ふれあい活動を通して豊かな心の育成

「子ども堺学」

- ・ネイチャーサイエンス 大泉緑地を活用した自然体験活動
- ・地域学習 茶の湯体験



続いて、
堺市の小中一貫校(大泉学園)の
様子を動画で紹介します

大泉学園 H25 堺市

○成果と課題

開校当時…

- ・授業に入らない
- ・生徒間トラブル
- ・器物損壊、落書き
- ・喫煙、茶髪、夜のたむろ
- ・暴言、…

原因…

- ・生活環境
- ・養育姿勢
- ・基本的生活習慣
- ・ソーシャルスキル、…

小規模化…

- ・単学級
→人間関係の固定化
- ・希望のクラブがない
- ・よいモデルがない

- 凡事徹底、話すは一人、全員さん付け、学習規律、標準服の導入、地域をまきこむ
- 小中一貫教育の取組み … 小中合同入学式、小中合同運動会、異学年交流など
- 大泉独自の取組み … 子ども主体の授業、ドリームファイル、大泉検定(漢字計算英語)

【成果】

- ・生徒指導 … ガラス割れ、茶髪、不登校(中学校) → ゼロに
- ・思春期の不安定さに丁寧に関わることができる

【課題】

学習習慣、校務分掌、放課後学習など

既に関校している学校でのアンケート調査結果

①開校後の状況 **成果面**

- ・中1ギャップの解消
→進学による新規不登校生が0になった
- ・児童生徒数が増え、クラス替えができたことにより
人間関係の固定化の解消が図られた
- ・異校種の教員が日頃から意見を交わし、研修も共にすることで児童生徒理解など資質向上が図られている
→きめ細やかな指導ができている
- ・学校行事の活性化が見られ、活気が出ている

既に開校している学校でのアンケート調査結果

②開校後の状況 **課題面**

- ・6年生のリーダーシップの維持
- ・小中での打ち合わせの時間の確保に工夫が必要
- ・特別教室や体育館、プールなどの割り当てや各行事の調整
- ・授業時間の違いによるチャイム設定や中学校の定期テストなどの際の小学校の配慮が必要
- ・小中の生活指導上のルールの違いによる指導の難しさ

【参考】

富秋中学校区 児童生徒数推移

H30年度(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
幸小	18	16	11	27	14	19	105
池上小	40	32	30	38	36	26	202
計	58	48	41	65	50	45	307

	1年	2年	3年	計
富秋中	70	58	71	199

H36年度(5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
幸小	18	18	18	26	18	18	116
池上小	30	30	34	40	26	28	188
計	48	48	52	66	44	46	304

	1年	2年	3年	計
富秋中	58	52	45	155